

# 三木町地域おこし協力隊活動報告

2023.7～2024.6

芳田 裕美

# 0.目次

---

- 1.活動について
- 2.魅力発信、地域支援活動など
- 3.古代米プロジェクト
- 4.TSUMIKI HOUSEプロジェクト
- 5.退任後

# 1.活動について

1年目は・・・

「地域を知る」

「同じ時間を共有し信頼関係を築く」

「つながりづくり」

- ①地域を知るー魅力発信（Instagram、ラジオ出演など）
- ②地域とのつながり（稲刈り初体験、農村体験研修、DIYセミナー参加など）
- ③つながり作り（クリスマスイベント作り、インスタライブなど）
- ④移住相談ーネットワーク作り（移住ガイドブック作成、移住者交流会開催、移住相談など）
- ⑤地域交流ー賑わい作り（小蓑農産物加工場&カフェオープンセレモニー、古代米プロジェクトスタートなど）
- ⑥活動発信（地域情報誌ナイスタウン取材、広報みき「よっしーだより」）

2年目は・・・

「地域課題×自分にできること」

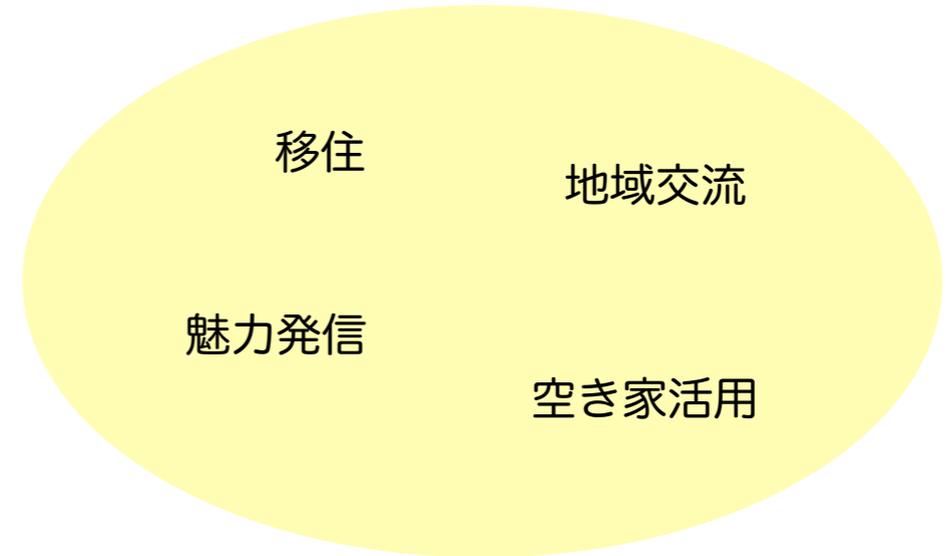
- ①魅力発信、活動発信（Instagram、ふるさと住民会報誌、三木町文化交流プラザ夏休みイベント、広報みき「よっしーだより」など）
- ②にぎわい作り（古代米プロジェクト、野菜作り、夏祭り、収穫祭など）
- ③移住相談（移住フェア参加、移住相談、移住者交流会など）

# 1.活動について

---

そして3年目・・・

「人と地域をつなぐ拠点づくり」



## 3年目の主な活動

- ①魅力発信、地域支援活動など（Instagram、ふるさと住民会報誌、広報みき「よっしーだより」、野菜づくり、加工品づくり、夏祭り、小蓑ホームページ作成・運用、ひまわり大作戦、協力隊ネットワーク）
- ②古代米プロジェクト（古代米の栽培、商品化、田植え・稲刈り体験）
- ③TSUMIKI HOUSEプロジェクト（空き家の改修、移住相談、ワークショップ）



## 2.魅力発信、地域支援活動

### ホームページ作成、運用

小蓑の宿泊施設「昭和の宿こみの」のホームページはありましたが、うまく運用できていないことが課題でした。ホームページを新しくするにあたっては、宿だけでなく、小蓑地域の様々な取り組みを発信できるようにしては？と提案し、実現したところです。今後も運用しながら改善していく予定です。

### ひまわり大作戦

使われていない田んぼに、ひまわりを植えました。地元の人や小蓑を訪れた人たちに喜んでもらいたい、写真を撮る人が来てくれたら地域のPRになると考えたからです。また、ひまわりは緑肥にもなり、一石二鳥でした。

近くに水道がなく、水やりに苦労したことと、花が咲いたときに道側から見える予定が、反対方向に咲いたので作戦は失敗だったのですが、地元の人と一緒にひまわりの成長を楽しみにしてくれていたもので、意味のある挑戦でした。



## 2.魅力発信、地域支援活動

### 協力隊ネットワーク

香川県の協力隊が企画している「さぬきの輪の集い」だけでなく、東讃の協力隊は定期的に集まり、互いの活動を応援し、情報交換や学びの場としています。

東かがわ市の野田隊員の畑では、大豆の収穫・脱穀を体験することができました。



### いちごの定植

三木町に移住して新規就農されたいちご農家さんのお誘いで、いちごの定植を体験しました。

完成したばかりの立派なハウスに、半年以上かけて大切に育てられた苗を植えていく作業には、私も胸が熱くなりました。

地域の方や先輩農家さんとのつながりを大切にしながら日々奮闘されているのを見て、今後も共に地域を盛り上げていきたいと思いました。



## 3.古代米プロジェクト

### 2年目のお米作り

2年目の挑戦は、田植えまでの工程や水管理もできるようになることでした。

田植えの日から逆算し、それまでに苗が育つように、もみまきをします。もみまきの前には、病気を予防するために種子消毒をし、浸水させたり、苗を作るハウスの中や周囲の草刈りをするなど、たくさんの準備があることを知りました。

水管理については、この時期には水を切らさないように、この時期には水を入れない、など基本的なことは理解できても、水量の調節はアナログなので、田んぼの水捌け具合など経験がないと難しく感じました。病気や、カメムシにも悩まされ、必死でお酢を吹きかけました。

### 稲刈り体験

2年目もなんとか収穫でき、10月に、稲刈り体験イベントを開催することができました。田植えに来てくださった方で、都合のつく方が参加してくれました。

稲刈り後は、薪割り体験、かまど炊飯体験でご飯を炊いて、用意していたカレーと一緒に食べました。

(今年も6/2に田植えをしました！！)



# 4.TSUMIKI HOUSEプロジェクト

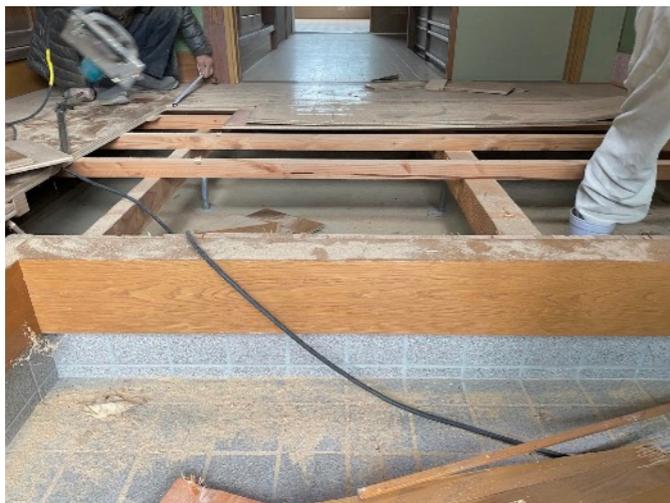
## TSUMIKI HOUSE プロジェクト

三木町の魅力である「暮らしやすさ」を伝えるきっかけを作ろうと思ったのが、TSUMIKI HOUSEの始まりです。空き家の活用は着任当初から考えていて、空き家の活用事例になればと取り組みました。地域の人にも協力してもらいながらできるだけDIYで改修することで、TSUMIKI HOUSEを「人と地域をつなぐ拠点」にしていく計画です。

- ・ 移住者ネットワーク”TSUMIKI”の拠点
- ・ 三木町の暮らし体験施設
- ・ 空き家の活用事例

## 片付け・改修

まずは不要なものを片付けることから始め、床や壁の撤去、網戸の張り替え、床の張り替え、ヤギ小屋制作など、地域の方に協力していただきながら、大工さんにも教わりながら、整備を進めました。



さぬき市、東かがわ市の協力隊も手伝いに来てくれました。

## 4.TSUMIKI HOUSEプロジェクト

### ワークショップ交流会

TSUMIKI HOUSEで使うテーブル作りからDIYのポイントを学ぶワークショップを開催しました。  
講師として木工職人さんに来ていただき、塗装を乾かしている間には、それぞれの活動やこれからやりたいことなどいろんなお話をし、つながりを深めることができました。



### ヤギでつながる

小蓑で生まれた子ヤギを、TSUMIKI HOUSEに迎えて育てています。柵は大家さんが立ててくれて、小屋の材料は小蓑の建築士さんが譲ってくれて、地域の人に手伝ってもらって作りました。ヤギを飼うことは、移住するまでは全く無縁の世界でしたが、おかげで近所の人たちが声をかけてくれたり、可愛がってくれていて、ヤギもつながり作りのきっかけを作ってくれています。



## 5.退任後

### 人と地域をつなぐきっかけづくり

退任後は、

- ・ TSUMIKI HOUSEを宿泊施設としてオープン
- ・ 農業体験の場を作る
- ・ 加工品ギフトづくり、地域の食を届けるキッチンカー

を中心に活動していきます。

農家さんや、移住希望者、地域の未来のために力になりたいです。



3年間、本当にありがとうございました。

協力隊としては退任となりますが、今後も地域を盛り上げていくのでよろしくお願いします。